

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第7週の発生動向

全数報告の感染症 (7週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：A型肝炎1例。5類感染症：梅毒1例、播種性クリプトコックス症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	疑似症患者	症状なし
		延岡	60歳代	女	肺結核	症状なし
		日南	60歳代	男	疑似症患者	痰、発熱、呼吸困難
		高鍋	80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
4類	A型肝炎	宮崎市	40歳代	女	—	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	60歳代	男	—	頭痛、意識障害、項部硬直

定点把握の対象となる5類感染症

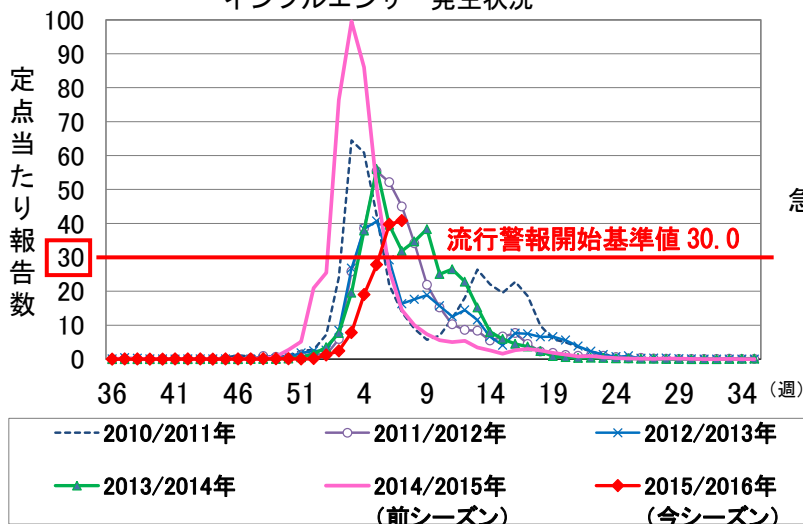
・定点医療機関からの報告総数は3,227人(定点当たり67.3)で、前週比100%と横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜炎と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

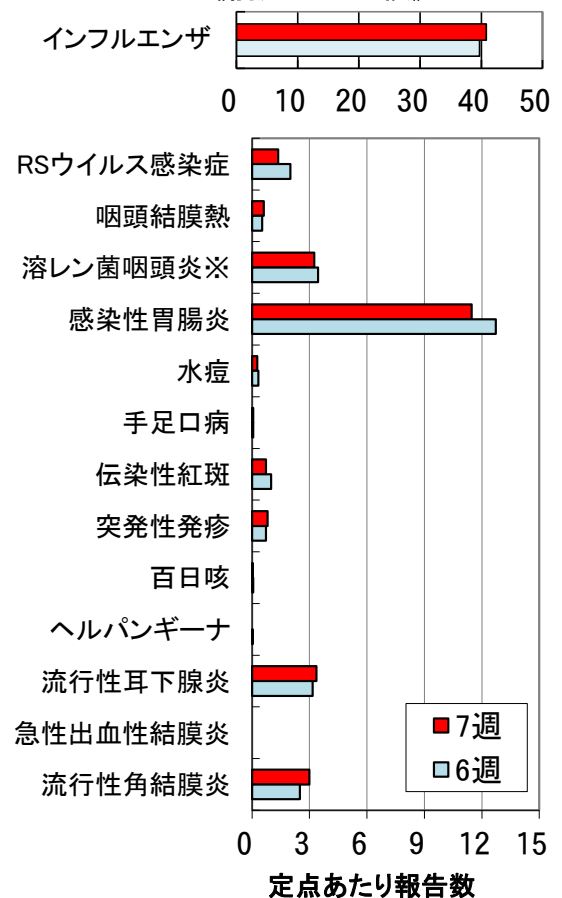
【インフルエンザ】

・報告数は2,408人(40.8)で、前週比103%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*(26.4)の約1.6倍であった。都城(61.3)、延岡(55.9)、日向(44.3)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が37%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が15%、60歳以上が3%を占めた。詳細後述。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値
インフルエンザ 発生状況



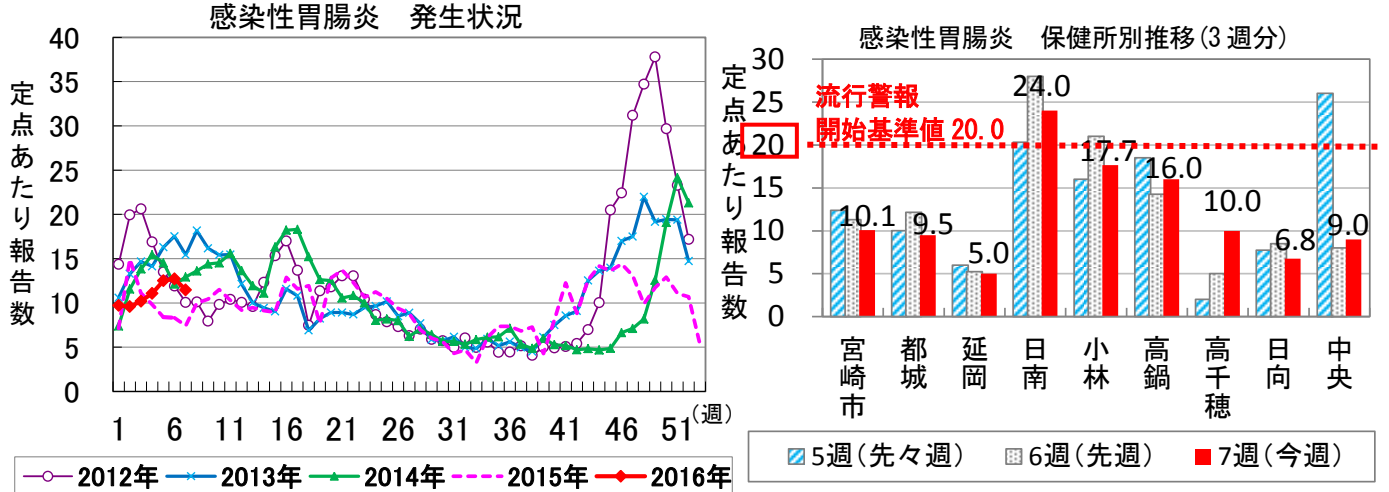
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

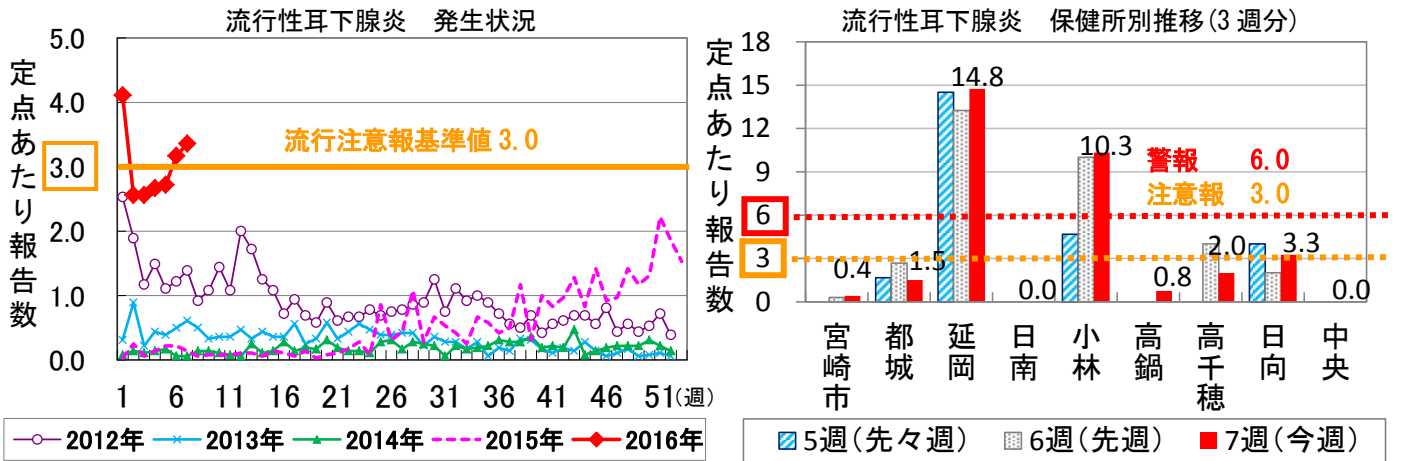
【感染性胃腸炎】

・報告数は413人(11.5)で、前週比90%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(13.4)の約0.9倍であった。日南(24.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。



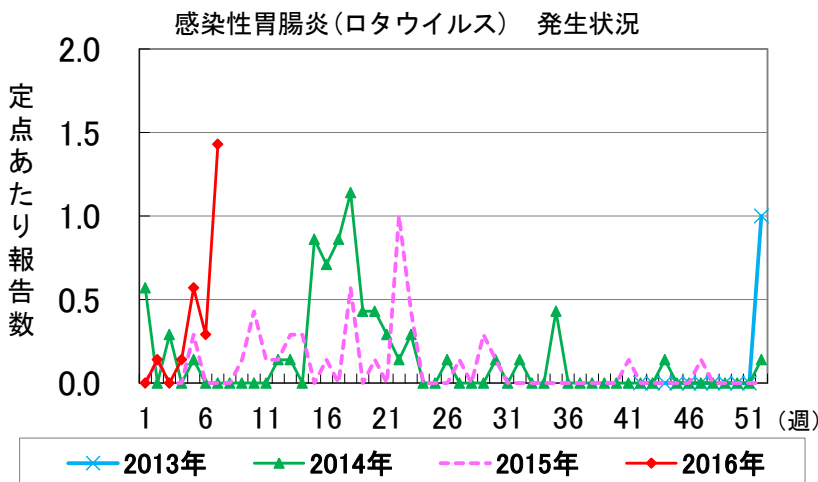
【流行性耳下腺炎】

・報告数は121人(3.4)で、前週比106%とやや増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.82)の約4.1倍であった。延岡(14.8)、小林(10.3)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約6割を占めた。

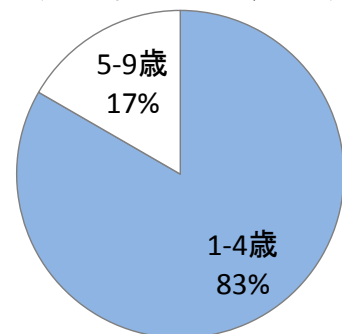


★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：都城保健所から1例報告があった。0~4歳であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：高鍋保健所から7例、日向保健所から2例及び延岡保健所から1例報告があった。0~4歳が8例、5~9歳が2例で、病原体の群別は不明であった。



感染性胃腸炎(ロタウイルス) 年齢群別割合 (2016年1週~7週, n=18)



★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(36.3)
都城	インフルエンザ(61.3)
延岡	インフルエンザ(55.9)、流行性耳下腺炎(14.8)
日南	インフルエンザ(28.2)、感染性胃腸炎(24.0)
小林	インフルエンザ(33.8)、流行性耳下腺炎(10.3)
高鍋	インフルエンザ(28.8)
高千穂	インフルエンザ(11.0)
日向	インフルエンザ(44.3)、流行性耳下腺炎(3.3)
中央	インフルエンザ(26.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

・インフルエンザ(30.0)

・感染性胃腸炎(20.0)

・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

・インフルエンザ(10.0)

・流行性耳下腺炎(3.0)

🇯🇵 全国 2016 年第 6 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 6 週)

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	255 例			
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	5 例	
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	6 例	デング熱 2 例
	レジオネラ症	20 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 18 例
	急性脳炎	13 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症 21 例
	梅毒	46 例	播種性クリプトコックス症	1 例	麻しん 1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 197,956 人(40.0)で前週比 115%と増加した。43 都道府県で前週と比較して増加しており、特に愛知県(58.5)、沖縄県(50.8)、埼玉県(49.1)からの報告が多い。また、37 都道府県で流行警報開始基準値(30.0)を上まわっている。年齢別では 5 歳未満が 21%、5-9 歳が 34%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 3%、20-59 歳が 21%、60 歳以上が 5%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第7週(2月15日～2月21日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2342	2408	581	613	391	141	169	173	22	266	52
	定点あたり	39.69	40.81	36.31	61.30	55.86	28.20	33.80	28.83	11.00	44.33	26.00
RSウイルス 感染症	報告数	72	49	9	10	9	6	4	1		9	1
	定点あたり	2.00	1.36	0.90	1.67	2.25	2.00	1.33	0.25	0.00	2.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	19	22	11	5	2	4					
	定点あたり	0.53	0.61	1.10	0.83	0.50	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	124	117	43	11	14	20		6	2	21	
	定点あたり	3.44	3.25	4.30	1.83	3.50	6.67	0.00	1.50	2.00	5.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	458	413	101	57	20	72	53	64	10	27	9
	定点あたり	12.72	11.47	10.10	9.50	5.00	24.00	17.67	16.00	10.00	6.75	9.00
水痘	報告数	12	10	8			2					
	定点あたり	0.33	0.28	0.80	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	2			1	1					
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	36	26	13	7	2			2		1	1
	定点あたり	1.00	0.72	1.30	1.17	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
突発性発しん	報告数	26	29	6	5	3	1	1	3		4	6
	定点あたり	0.72	0.81	0.60	0.83	0.75	0.33	0.33	0.75	0.00	1.00	6.00
百日咳	報告数	2	1								1	
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	114	121	4	9	59		31	3	2	13	
	定点あたり	3.17	3.36	0.40	1.50	14.75	0.00	10.33	0.75	2.00	3.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	18	13	4	1						
	定点あたり	2.50	3.00	4.33	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	4										
	定点あたり	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	10			1			7		2	
	定点あたり	0.29	1.43	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	7.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患患積報告数(2016年第1週～7週)

2類感染症	結核	28例(4)			
4類感染症	A型肝炎	2例(1)	つつが虫病	3例	
	アメーバ赤痢	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症 1例
	梅毒	3例(1)	播種性クリプトコックス症	2例(1)	

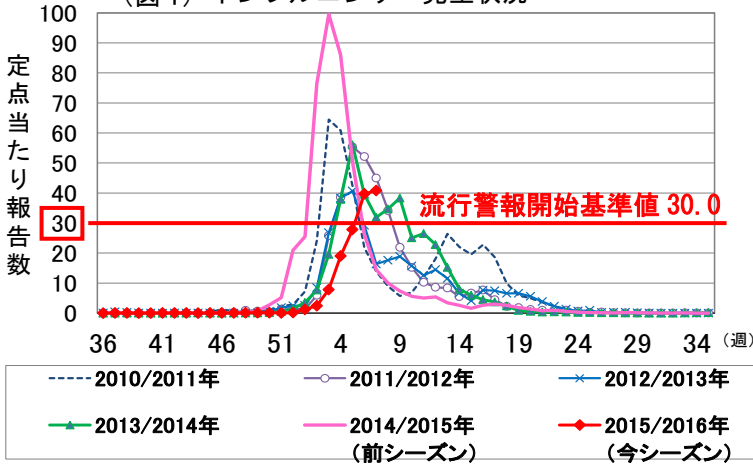
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第7週、全国第6週（再掲）》

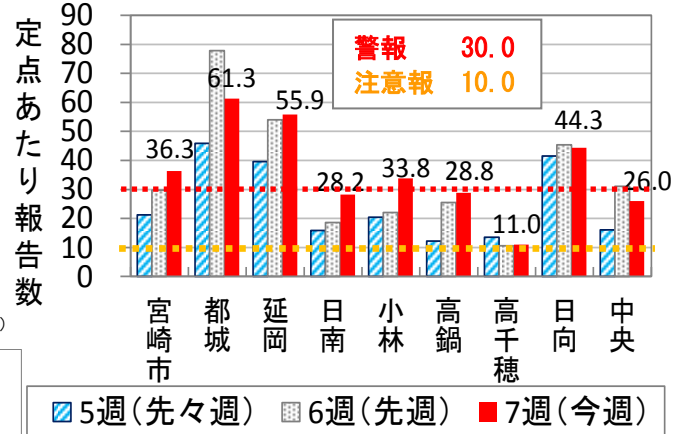
□ 県内第7週インフルエンザ発生動向

2016年2月15日～2月21日までの1週間で2,408人（定点あたり40.8）の報告があった。前週の約1.0倍とほぼ横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値*（26.4）の約1.6倍であった（図1）。保健所別は都城（61.3）、延岡（55.9）、日向（44.3）保健所からの報告が多く（図2）、年齢群別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が37%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が15%、60歳以上が3%を占めた（図3）。

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（第5～7週）

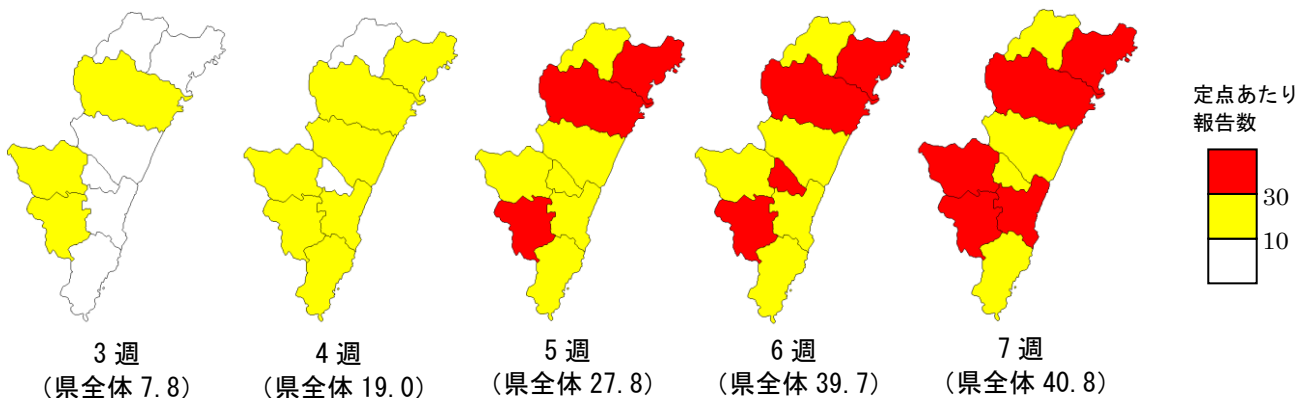


（図3）年齢群別割合の推移（第3～7週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
3週 461人	23%	42%	10%	7%	15%	3%
4週 1,121人	16%	41%	21%	3%	16%	3%
5週 1,638人	21%	38%	21%	3%	15%	2%
6週 2,342人	24%	34%	19%	4%	17%	2%
7週 2,408人	25%	37%	16%	4%	15%	3%

□ 5歳未満 ■ 5～9歳 ▨ 10～14歳 ■ 15～19歳 □ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第3～7週



□ 全国第6週インフルエンザ発生動向

2015年2月8日～2月14日までの1週間で197,956人（40.0）で、前週比115%と増加した。前週と比較して増加したのは43都道府県で、特に愛知県（58.5）、沖縄県（50.8）、埼玉県（49.1）からの報告が多い。また、37都道府県で流行警報開始基準値（30.0）を上まわっている。年齢別では5歳未満が21%、5-9歳が34%、10-14歳が16%、15-19歳が3%、20-59歳が21%、60歳以上が5%であった。